

第2回 4大学間「学生交流自主的・実践的研究プロジェクト」

研 究 成 果 発 表 会

平成16年5月8日(土)午後1時30分からメディアホール(メディアの森6階)において、第2回4大学(島根・山口・愛媛・高知)間「学生交流自主的・実践的研究プロジェクト」研究成果発表会を4大学の学生を始め、副学長・教職員等約100名が参加して開催しました。

「学生交流自主的・実践的研究プロジェクト」は、4大学間の教育・研究交流協定に基づき、学生自らが積極的に地域の問題に取り組むプロジェクトとして行われているもので、平成15年度は「地域」と「環境」をテーマに募集し、19件の応募から書類審査の結果、8件が採用され、発表会では、この8件のプロジェクトの1年間の研究成果が発表されました。

まず、相良学長から「4大学の学生が交流を深めつつ、『地域の大学』としての誇りを持って、このような研究を進めていることをうれしく思います。地域の文化や経済に大きな役割を果たすべく、今後ともこのような取り組みが発展するよう期待しています。」と、歓迎挨拶があり、続いて松永副学長より経緯説明の後、本学学生の司会により8組の発表が行われました。西中国・四国地方の自然災害の研究、地域資源の見直しや有効利用による地域活性化、地域素材を生かした教材開発など研究報告は多岐にわたり、趣向を凝らした発表は、いずれも素晴らしいものでした。質疑応答も活発に行われ、参加学生から「単独大学の発表では得られない新鮮な感動や刺激があり、貴重な経験となった」という声が寄せられています。

また、発表終了後、特別交流企画「プレゼント・ナメント」が、4大学混合のチーム編成で行われ、楽しく有意義な学生交流の場となりました。

審査結果は以下のとおりで、4大学長連名の表彰状が授与されました。なお、「学生プロジェクトE・X賞」[学生プロジェクトX賞]は、学生代表が相互に審査した賞です。

最優秀賞	愛媛大学	岩市年美・中村迪子
優秀賞	高知大学	中尾千予視
学生プロジェクトE・X賞	高知大学	大原明子
学生プロジェクトX賞	愛媛大学	梅田紀子 (敬称略)

最後に松永副学長から「『地域』や『環境』について、『自主的・実践的』という観点から自ら課題を見つけ、考え、アイデアを創って解決するという所期の目的を達成でき、有意義な発表会であった。プレゼンテーションというのは、単に技術ではなく、内容を他人に伝える力である。コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高めるといことが学生時代だけでなく、社会に出ても重要ではないか」と総評がありました。記念撮影後の交流会も4大学から60名が参加し、受賞者の成果を讃えあう和やかな場となりました。今後も学生交流が活発に行われ、自ら学ぶ学生の活躍の輪が一層広がることを期待したいものです。



司会する学生さん



開会挨拶をする相良学長

研究発表

番号をクリックすると、研究報告書の内容が見られます。

番号	研究代表者 (大学名)	所属	題目
1	寺町 枝里子 (愛媛大学)	法文学部	愛媛から地域の経済振興と若者の人材育成を模索し行動する
2	中尾 千代視 (高知大学)	教育学研究科	香北町発菌床エコロジ - の実践 ～環境浄化から環境教育へ～
3	北川 直寛 (島根大学)	法文学部	隠岐めぐりあい - 海幸・山幸出会い食彩街道づくり -
4	梅田 紀子 (愛媛大学)	農学部	「放置竹林の有効利用システム」プロジェクト
5	山根 幸治 (島根大学)	教育学部	冒険遊び場 プレ - パ - ク
6	岩本 剛 (山口大学)	農学研究科	西中国・西四国地方における気候環境および自然災害の地域間比較
7	大原 明子 (高知大学)	人文学部	現代型ネイチャ - ゲ - ム施設の提案
8	岩市年美・中村迪子 (愛媛大学)	教育学部	松山平野の泉を探検しよう！ ～地域素材を生かした自然体験のための教材開発～



「最優秀賞」受賞 喜びの声
岩市年美さん



「優秀賞」受賞 喜びの声
中尾 千予視さん



「学生プロジェクトE・X賞」受賞
喜びの声 大原 明子さん



「学生プロジェクトX賞」受賞
喜びの声 梅田 紀子さん



質問する参加者



熱心に聞く参加者



特別交流企画
「プレゼン・トーナメント」参加者



学生プロジェクトメンバ - 記念撮影

[← 高知大学のトップページに戻る](#)